

企画展
か げ しょう ぞう
鹿毛正三
ば ら え て い
—アトリエ“薔薇絵亭”より—

生誕百年、画家のアトリエをひらく



鹿毛正三《暮色湖畔》1998年、油彩・カンヴァス、個人蔵

2024 2/10_(土) → 3/24_(日)

開館時間	9:30~17:00 ※最終入場は閉館の30分前まで
休館日	月曜日(ただし、2/12(月・振休)は開館、翌平日が休館)
会場	第1・2展示室
観覧料	一般300(240)円、高大生200(140)円、中学生以下無料

※()内は10名以上の団体料金です。
※年間観覧券による観覧が可能です。
※観覧料の免除については、お問い合わせください。
※併せて特集展示、常設展示もご覧いただけます。

《主催》苦小牧市美術博物館
《後援》苦小牧信用金庫、北海道新聞社苦小牧支社、株式会社苦小牧民報社、NHK 室蘭放送局

苦小牧市美術博物館

Tomakomai City Museum [愛称:あみゅー]

〒053-0011 北海道苦小牧市末広町3丁目9番7号
TEL 0144-35-2550・FAX 0144-34-0408

[tomakomai.museum](https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan/) [@tomakomai_amyu](https://twitter.com/tomakomai_amyu)

苦小牧市美術博物館

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan/>



画家・鹿毛正三の『薔薇絵亭』から

画家・鹿毛正三（一九二二～二〇〇二）は、帝国美術学校（現武蔵野美術大学）で油彩を学んだ後、苫小牧市内の中学校で教員を勤めながら制作を行いました。海や山など苫小牧ばかりでなく道内各地の自然を多く描き、四季折々の自然の豊かな表情を、生気みなぎる色彩と雄渾な筆致で表現し、苫小牧の風景画の第一人者として活躍しました。自身の活動を振り返り、「観察と感動の持続と発酵が大切」との言葉も残しています。また、画作のみならず、随筆集『絵かきつれづれ』（一九七七年）、「北の風景」（一九八三年）を出版するなど、秀逸なエッセイの書き手でもありました。令和五年に迎えた生誕百年を記念し、本展では、自身が名付けたアトリエ『薔薇絵亭』に残された作品と当館所蔵作品を紹介いたします。



アトリエ「薔薇絵亭」の鹿毛正三

関連企画

絵画鑑賞会

鹿毛正三作品を、参加者のみなさんと語りあいながら鑑賞します。

（共催：苫小牧市美術館友の会）

日時：3月8日（金） 10：00～11：30

会場：当館研修室

対象：一般

定員：20人（先着順）

申込方法：2月27日（火）から電話（0144-35-2550）にて

※参加費無料

※展示室への入場はございません。



1. 鹿毛正三《パリ（モンマルトル）》
1974年、油彩・カンヴァス、個人蔵
2. 鹿毛正三《紅葉の樽前山》
1990年、油彩・カンヴァス、当館蔵
3. 鹿毛正三《暮れる支笏湖》
1975年、油彩・カンヴァス、当館蔵

1



2



3

ギャラリートーク

当館学芸員が会場で解説をします。

日時：3月9日（土） 11：00～11：40

会場：当館企画展示室

対象：一般

※申込不要

※観覧券または年間観覧券をお求めの上、直接会場にお越しください。



【アクセス】

◆車でお越しのお客様

国道276号と国道36号の交差点（「苫小牧信用金庫元中野支店」かど）を港方面へ。交差点の次の信号を右折。すぐ右手、出光カルチャーパークに駐車（無料、約50台駐車可）。最寄りのインターチェンジに「苫小牧中央IC」があります。

◆JR苫小牧駅からお越しのお客様

苫小牧駅南口より、のりば①から「24番」「30番」「札幌駅前前行」「郊外線（静内・平取線）」、のりば②から「21番」、のりば③から「13番」「14番」に乗り、「出光カルチャーパーク」で下車（所要時間約5分、料金230円）、下車後徒歩約5分。

苫小牧市美術博物館

Tomakomai City Museum [愛称:あみゅー]

〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3丁目9番7号

TEL 0144-35-2550・FAX 0144-34-0408

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan/>

f tomakomai.museum x @tomakomai_amyu

